

必要機能や規模、必要諸室等の優先付けについて

改修後の公会堂に必要な諸室について、コストバランスを踏まえて優先付を行うことが必要となる。モデルプランでは、既存の部屋面積が6割程度に減少することになる。現状と同等程度の部屋面積を確保する場合4階建てが必要となるなどコスト面も含めた課題があるため、改修の際に優先とすべき考え方を以下に整理する。

1 必要諸室について優先すべき考え方

(1) ホール機能を相互に補完する諸室・機能を優先する

① 楽屋・控室

利用頻度を上げるためには、楽屋機能の充実が必要であるため、音出しもできる楽屋を主目的とした諸室を整備し、さらに、楽屋以外の使い方もできるものとすることが有効である。また、舞台に直近で、かつ一般客と動線が交錯しない同レベルに設置することが望ましい。

② 防音(遮音)性能を有する練習室

現在、公会堂には練習等に対応できる音が出せて一定の広さを有する練習室が無い。音が出せる市内の文化施設としては、市民文化会館練習室と吉祥寺美術館練習室があるが、利用率は8割を超えており、防音機能のある練習室のニーズが高いことが分かる。

また、吉祥寺南町コミュニティセンター内やプレイスにも音の出せる部屋やスタジオがあるが、こちらも便利に利用されている。

このことから、改修の際は、音出しを可能とする遮音性能に配慮した諸室を設置することで、利便性の向上や施設の利用頻度が高まると考える。

しかし、広さやどの程度の防音・遮音性能を要求水準とするのかについては、コスト面での検討が必要となる。

なお、移動観覧席（平土間）を導入し、ホールの遮音性能を高めることで、ホール客席部分も練習の場とすることが可能となる。

(2) 将来を見据えた新たな価値の創出と既存機能確保との整理

① 多目的な活動を視野に入れた諸室

諸室利用は「会議室」を前提とするのではなく、様々なサイズ、仕様(遮音性能等)を有する「スペース」や「スタジオ」と位置づけ、多様な活動に対応できる諸室を設けることが有効ではないか。

また、既存会議室の利用状況等を踏まえ、コスト面で最適な規模や機能の整理が必要である。

② 和室（茶室）

現在和室には、茶室利用も想定した水屋が設置されているが、実際の主な利用状況を

見ると、ホール利用の控室、説明会、研修会となっている。上下足の履き替えができれば、必ずしも和室に限定する必要が無いことが伺える。したがって、茶室利用を想定すべきか、他の諸室の設置状況から引き続き検討する。

2 まちとつながる空間の創出、工夫について

(1) まちとつながる広場的な空間の確保

武蔵野公会堂は、駅と公園をつなぐ重要な動線上にあり、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりと一体的な検討を進める必要がある。

しかし、現状は人々を招き入れる開放的な佇まいとは言い難いことから、敷地内に広場状のオープンスペースを設けるなど、来館者や来街者の相互の新たな対話・交流を生み出す場としてまちとつながり、愛着を持たれる施設を目指すことが大切である。

そのため、まちとつながる広場的な空間の確保についても、必要な機能として整理が必要である。

(2) 情報発信の場

未来志向で新たな公会堂を創造していくためには、情報発信のあり方や地域との関わり方なども新たな工夫が必要であると考えます。利用者でなくても、誰でも気軽に訪れ、身近に芸術文化に触れることで関心を喚起できるような工夫が求められる。

*参考データ

◆市内文化施設、音の出せる会議室

	武蔵野市民文化会館			吉祥寺美術館
	第一練習室	第二練習室	第三練習室	音楽室
広さ	65.0 m ²	25.0 m ²	65.0 m ²	152.0 m ²
収容人数	36 名	10 名	36 名	90 名

◆武蔵野公会堂 ホール・会議室利用率

単位%

	ホール	第一 和室 (2 階)	第二 和室 (2 階)	第一 会議室 (2 階)	第二 会議室 (2 階)	第三 会議室 (3 階)	第四 会議室 (3 階)	第五 会議室 (3 階)	第六 会議室 (3 階)
2021 年度	58.2	38.1	46.7	52.2	54.2	46.2	33.9	50.3	31.2
2020 年度	54.0	27.1	30.8	48.2	42.2	31.7	27.8	40.9	25.8
2019 年度	69.5	39.3	54.2	73.1	65.9	55.9	48.6	66.9	49.2
2018 年度	73.8	41.0	50.9	74.4	61.1	55.8	44.0	69.8	50.3
2017 年度	92.3	43.8	49.6	73.6	58.8	53.4	47.9	67.7	54.8
面積		20 畳	25 畳	81.0 m ²	81.0 m ²	81.0 m ²	81.0 m ²	49.5 m ²	49.5 m ²

その他利用に関する参考データ

- *第一・第二会議室：合同利用の割合 36.6% (2018 年度、表中数字の内数)
- *第一和室 (水屋あり)：茶道での利用数 月平均約 2.1 回 (2018 年度)
- *第一和室：控室としての利用割合 18.0% (2018 年度)

◆武蔵野公会堂利用状況

	開館日数 (日)	総利用回数 (回)	開館 1 日当たり 平均利用回数 (回)
2021 年	308	2,762	9.0
2020 年	248	1,922	7.8
2019 年	283	4,177	14.8
2018 年	308	4,549	14.8
2017 年	308	4,292	13.9

*以下は数値の取り方が現在とは異なる可能性があるため参考に

総利用回数 「2015 年 5,008 回」「2005 年 5,481 回」「1995 年 5,961 回」「1985 年 3,951 回」「1975 年 6,195 回」「1965 年 3,734 回」